



日時：11月17日(土) 9:00-11:30

場所：天童市市民プラザ3F カルチャールーム

(山形県天童市本町1丁目1-2)

受講費：※事前振込制 下記は税込金額

- 講義のみ参加 (医師) 2,000円
- 講義のみ参加 (コメディカル) 1,000円
- ハンズオン&講義参加 (医師) 10,000円
- ハンズオン&講義参加 (コメディカル) 3,000円

対象：蘇生 (ER、プレホスピタル、病棟急変、RRS/MET)

に携わる医師・看護師・救急救命士

申込ページ：<https://goo.gl/S4aWG7>



申し込みページ
QRコード

現在、POINT OF CARE超音波の普及に伴い、各種のエコー手法が科を問わず盛んに行われるようになってきました。急性期超音波に関しては、ショック検索 (FAST, RUSH, FATE) や呼吸不全の検索 (FLUS) が行われてきましたが、心停止の原因検索としての超音波に関しても、FEEL, FEAR, CAUSE, CASAなどのプロトコルもあり、いわゆる4H4T~6H6Tなどとされる心停止の主要な要因で、エコーがあることで迅速な判断と対応に至れる疾患の検索を行うことが提案されています。もちろん、蘇生エコーを行うことで予後が改善する、などのエビデンスはまだ確立されておらず、またききかじりで行うエコーが胸骨圧迫中断時間を延長するリスクなども指摘されており、より理想的な蘇生を行うにあたってはまだまだ克服すべき課題がある分野でもあります。

今回、蘇生学会において、心肺停止状態の患者に対する通常のACLS, ICLSに加えて超音波を取り入れることで現場の医療従事者の知識技術の向上に役立つことを期待し講義とワークショップを企画いたしました。超音波診断トレーニングの導入をご検討されている皆様、ぜひご参加ください。

お問い合わせ：レールダルメディカルジャパン株式会社 マーケティング部 TEL : 03-3222-8984



Laerdal

helping save lives

ハンズオンセミナー3 蘇生エコーワークショップ



コーディネーター	鈴木昭広	東京慈恵会医科大学	麻酔科学講座
インストラクター	亀田徹	安曇野赤十字病院	救急科
(五十音順)	児玉貴光	愛知医科大学	災害医療研究センター
	佐藤仁思	倉敷中央病院	救急科

【プログラム概要】

- 1) 蘇生エコーの座学（各セッション約20分）
 - ・ 蘇生エコーの概要：なぜエコーを用いるべきかについて
 - ・ 蘇生エコーの実際：どのように行うのか、実際の利用、ERやRRS/METなどでのチームビルディングを含めて
 - ・ 蘇生エコーの問題点・課題（文献根拠などを含めて解説）
- 2) 蘇生エコーハンズオン 2時間 1ブース20分
6-8名のグループにて、3-4ブースにローテーションでご参加いただきます。
1ブースでの実施内容：ケースプレゼン(2分)
シナリオ(12分)
フィードバック(3分)
移動(3分)
A ブース例 ERでの蘇生エコー
B ブース例 MET/RRSでの蘇生エコー
C ブース例 当直者病棟急変対応での蘇生エコー

【使用機材】

Laerdal-SonoSim 超音波トレーニングソリューション：

心臓・肺・大血管などの異常画像を描出することができます

SimMan® 3 G（高性能患者シミュレータ）